



2023年 迎春



岸田政権を
つめましよう。

ロシアによるウクライナ侵略、政府の大軍拡路線、「戦争か平和か」が、現実味を帯びて迫ってくる昨年でした。まさに今年は100年の日本共産党の存在が問われる年だ、という気がします。災害、物価高騰、国民のくらしは痛めつけられているのに。地元の議員さんと力あわせ、皆さんの声にこたえ、

民報 おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049

衆議院議員 高橋 千鶴子



参議院議員

紙 とも子

新年おめでとう

の年です。昨年はいわぶち友参議院議員を当選させることができましたが、全国的には悔しい思いをしました。安保法制のたたかひを通じて共産党が伸びてこそ、政治が動くことを実感しています。大軍拡・大増税も福島原発汚染水の海洋放出も許すな。希望の年に、ともに頑張りましょう。

岩手県議会議員 千田 美津子

昨年、コロナ・コロナに明け暮れた一年となり、さらに物価高騰で国民のくらしが一段と苦しくなった一年でもありました。

そのような中、岸田政権は、大軍拡のために庶民増税とくらしの予算を流用・削減しようとしています。具体的には、

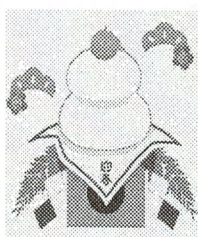


- ①復興特別所得税(税額の2・1%)の半分を軍事費に流用し、課税期間を2037年からさらに延ばすこと。
- ②今年度は年金額0・4%削減、75歳以上のうち370万人の医療費窓口負担の増額などが押し付けられました。新年度は高齢化などで当然増える社会保障費の自然増を約1500億円圧縮する予定。

③「防衛力強化資金」の名で医療関係の積立金やコロナ対策費の未使用分を流用する。



- ④国債を増発すること等です。
- みなさん、日本はいま、戦争か平和かという戦後最大の歴史的岐路に立っています。平和な未来を子や孫たちに残すためにも大軍拡に反対する一点で力を合わせ、岸田政権による「戦争国家づくり」への暴走をやめさせようではありませんか。そのために、引き続き5人の市議団



県議会議員 千田美津子
市議会議員 今野 裕文
菅原 明
千葉 敦
瀨川 貞清
佐藤 美雪

参議院議員
いわぶち 友

メイプルの継続へ! ~奥州市議会臨時会~

奥州市議会臨時会が12月22日に開かれ、メイプルの継続支援補助金と不動産鑑定委託料を盛り込んだ一般会計補正予算案が上程されました。

千葉敦議員と今野裕文議員は、「テナントに対して市が直接説明すること、そして、市長自ら出向いて説明することが必要だったのではないかと質しました。」

これに対し、佐藤美雪議員は委託料削除の目的と市民サービス停止の懸念について質問。瀨川貞清議員は、修正案に対する反対討論を行いました。

奥州みらいの佐々木友美子議員は、「メイプルをどうしていくのか、市民に知らされておらず、取得の可否を判断するには時期尚早であり、現時点で不動産鑑定を委託するのは適切でない」として予算案の不動産鑑定委託料の削除を求める修正案を提出しました。

市民サービスの提供を継続するためにも市の対策を進めるべき!

と主張しました。修正案は否決され、予算案は可決されました。